

事業計画書

申請者企業名	株式会社X Y G		
事業の名称	(50文字以内) オリジナル製品開発事業 【様式1と合わせて下さい】		
事業の実施期間	(着手) 令和 元 年 9 月 27 日～ (完了) 令和 2 年 3 月 6 日 【様式1と合わせて下さい】		
補助対象事業の経費合計-①	(税抜額で記載すること) 1,750,000円 【様式2-3で算出した額を記入】	補助金申請額 (①の1/2以内、 上限100万円)	(税抜額で記載すること) 875,000円 【様式2-3で算出した額を記入】

事業の内容

①事業の背景

(御社の事業概要、業界動向など)

弊社では、平成 10 年より大手流通のPB商品(スナック菓子等)の生産を行っており、売り上げの 70%を占めている。しかし、消費税増税に伴い生産コスト削減を取引先から求められており、また円安の影響で原料価格の高騰等が要因となり、経営の健全化を維持するための利益率確保が厳しい状況となっている。そのためPB商品生産に頼らない自社新製品を開発し高い収益性があるビジネスモデルを構築したいと考えている。

また、～

②自社の現状と課題

(御社の業務内容及び課題など、全体像が把握できるような図の添付が望ましい)

PB商品で培った生産ノウハウは十分にあり、また現在、自社新製品の開発チームを組織し、商品化の一手前まではこぎつけている。自社新商品の特徴は、地元の食材を活用した新しいスナック菓子で、市場調査においてもその味は概ね好評であった。

しかし、弊社においては商品パッケージのデザインやネーミング等の開発に関する経験がなく、市場の中で高い競争力を発揮するためには独創的なデザインやネーミング、プロモーションが不可欠であることから、それらに対し豊富な経験と高いスキルを有したクリエイターを模索していた。さらに～

参考：現状の当社業務の問題点及び課題抽出図を添付する。

事業の内容

③コンテンツ活用の目的とその内容

(どのような形でコンテンツ活用を行うのか、本事業申請前→本事業採択後の変化がわかるような構成図の添付が望ましい)

現状の課題を解決すべく、本事業では以下に述べる内容を実施する。

■自社開発商品のオリジナルキャラクター開発

具体的に：地元食材をイメージさせるオリジナルキャラクターを開発。
海外でも人気の高い「Kawaii」を意識したアニメタッチのキャラクターをイメージし～

■オリジナルキャラクターを活かした自社開発商品のパッケージデザイン開発

具体的に：オリジナルキャラクターのイメージを活かせ、且つ商品自体の魅力を伝えられるパッケージデザインを開発し～

■オリジナルキャラクターによるPR戦略

具体的に：オリジナルキャラクターによるPR用映像を作成。
プロモーションツールとして活用する他、SNS等を利用し～

④本事業のまとめ

現状の課題	課題解決策	改善目標
消費税増税と円安の影響により、受託商品の生産コストが削減され、利益率の確保が厳しい	コンセプトデザインから確立した自社新製品を開発	受託商品に頼らない自社製品を開発し、安定した収益性を高める
自社新製品開発チームの、パッケージデザインやプロモーションといった分野の知識・スキル不足	豊富な経験と高いスキルを有したクリエイターの登用	コンセプトに沿った収益性のあるビジネスモデルを構築する
国内市場での流通のため、プロモーションにも限りがある	オリジナルキャラクターのPR映像を制作し、SNS等を利用した新商品のプロモーションを実施	国内外（特にアジア圏）へ向けた新商品のテストケースとして、オリジナルキャラクターのコンテンツビジネスへと展開する

(本事業により期待される効果と定量的な目標数値を記載してください)

本事業を活用することで、自社製品の確かなブランディングを構築し高い収益性のあるビジネスモデルを確立する。また流通先として国内市場のみとしてきたものを、新しいオリジナル商品をテストケースに、ASEANをはじめとするアジア圏も視野に入れて展開を図りたい。

また、本事業においてはキャラクター開発が最も重要な要素となることから、コンテンツ事業者にも、弊社が考える商品コンセプトを十分に理解してもらい、全ての段階において共同作業を進めることで、発注ではなく協業として新商品開発を行いたい。これにより、キャラクターを軸として、単に販売促進策としての活用のみならず、商品のイメージを反映させたキャラクター独自の展開（アニメ化、グッズ化）もコンテンツ事業者へ促し、当該事業者による著作権ビジネスモデルの構築など、シナジー的なキャラクター運営方法を模索し、他企業に対しコンテンツの活用による新しい先進事例を示したい。

事業の効果

着目指標	事業完了1年後	同2年後	同3年後
オリジナル商品が占める売上比率	35%	45%	50%
...			

その他 特記事項

①本申請事業以降の将来構想などあればお書きください

前述にもあるようにアジア市場への展開を図りたい。そのためアジア各地域で好まれる味の研究は勿論の事、パッケージやキャラクター、ネーミング等の開発を通して、海外でも競争力のあるブランディングを行っていきたい。また、～

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。